



Message ゴミひろいマスターたちによる、ゴミひろいへの想い



ゴミひろいは夢ひろい

【らー麺 藤原家】
オーナー 和知 知明 さん

「ゴミをポイ捨てるのは「自分さえよければいい」という身勝手な心の表れです。つまり、ゴミを捨てる人は自分の運をどんどん落としている。一方で、ゴミを拾うのは、そうして他人が落した運を拾うことなのです。メジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手は、グラウンドにゴミが落ちていたら必ず拾うそうです。ケガや故障にも負けず、大谷選手が活躍しつづけられるのも、たくさん運を拾っているからではないでしょうか。みなさんもゴミを拾って、タダでいい運をもらいましょう！」



掃除とは自分の心を清める立派な修行

【浄土宗 光琳寺】
井上 広法 住職

「仏教徒にとって、掃除をすることは心を清めること。「一に掃除、二に勤行、三に学問」という言葉があるように、掃除とは修行そのものです。このことに関して、有名なエピソードがあります。その昔、お釈迦様に、頭が悪くて修行がまったく進まない弟子がいました。その名はチューラパンタカ。お釈迦さまは彼に「塵を払い、垢を除かん」といいながら掃除をするようにいいました。チューラパンタカは毎日掃除を続け、なんとある日悟りを開きました。掃除をしている方は、修行をしているということなのです。」

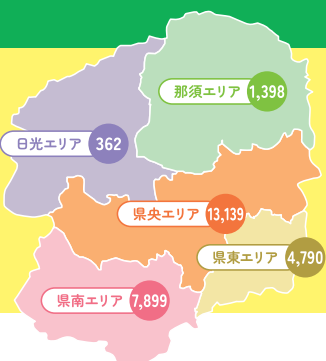


ひとりひとりの意識を変えることが大切

【自宅料理教室 Bio's Kitchen】
主宰 kanami さん

「ゴミ問題にはとても関心があります。日頃からマイバッグ＆マイバスケットを持ち、小さなことでも、やり続けることに意味があると思っています。食材の梱包なども大抵プラスチックが使われていて、ヨーロッパのような量り売りは日本ではまだまだ見かけません。こうした状況を変えるには、みんなの意識を変えるしかないと思っています。いま地球規模で異常気象が続いています。環境問題はもう他人事ではありません。今こそ真剣にゴミ問題に向き合っていきましょう。」

Report 「For me 530 project 2024」に関するデータをご紹介します



毎年、世界の海には約800万トンのプラスチックごみが増えていると言われています。海のプラスチックごみの約8割は街から流れたものと言われていますので、栃木県は海がないから無関係というわけではありません。そのため、栃木県と全25市町では、「栃木からの森里川湖（もりさとかわうみ）プラごみゼロ宣言」を令和元年8月に宣言し、プラスチックとの上手なつきあい方に取り組んでいます。その一環として、For me 530 projectでは、栃木県から海へのごみの流出ゼロを目指した「ゴミひろい」を進めています。この機会を、海洋プラスチックごみ問題を考えるきっかけとしていただけたらうれしいです。

みんなが拾った
ゴミの総数
28,195個
(県全体)

※For me 530 projectに投稿されたデータを元に集計